



たてやま議会だより



●平成24年11月号 ●No.99 ●発行/館山市議会 ●☎294-8601 館山市北条1145-1 ●電話 0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



9月5日及び6日は、10人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。
9月11日は、決算を除く各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。
9月13日は、各会計決算に対する質疑を行い、決算審査特別委員会を設置、委員を選任し、

9月定例会市議会は、8月31日から9月26日までの会期27日間にわたって開かれ、市長から提案された19議案、議会から提出された1議案が、いずれも原案どおり可決、認定されました。

平成24年9月定例会市議会
防災会議条例の一部を改正する条例
などを議決
平成23年度一般会計、特別会計決算
を認定
平成24年第3回臨時市議会(10月18日開催)
一般会計補正予算を議決

主な内容

- ★議案の概要 2~4頁
- ★委員会審査 3~4頁
- ★一般質問 5~9頁
- ★議決結果 10頁

審査を付託しました。
最終日(9月26日)は、各委員会の委員長が委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。
続いて、追加議案の審議を行い、閉会しました。

9月定例会に提案された
議案等を紹介します。

ついては船形地区と九重地区に
館山市立こども園を設置しよう
とするもの。

料の額を500円に設定しよう
とするもの。

議案第51号 平成24年度館山
市後期高齢者医療特別会計補正
予算(第1号) 歳入歳出それ
ぞれ353万2千円を増額し、
総額6億2329万9千円とし
ようとするもの。

各会計決算について、地方自治
法の規定に基づき監査委員の意
見を付して議会の認定に付する
もの。

【追加議案】

議案第54号 館山市教育委員
会委員の任命について(9月26
日提出) 館山市教育委員会委
員が任期満了になるので、引き
続き半澤美緒子さん(北条86
5番地の1)を任命しようとする
もの。

議案第43号 館山市防災会議
条例の一部を改正する条例の制
定について 災害対策基本法の
改正に伴い、防災会議の役割の
見直し及び明確化を図るとも
に、委員定数を増やし、多様な
主体の参画を図ろうとするもの。

議案第47号 館山市子ども医
療費支給条例の一部を改正する
条例の制定について 千葉県
の制度改正に伴い、小学校4年生
から中学校3年生までの子ども
に係る子ども医療費の支給につ
いて、平成24年12月診療分から
現物給付とし、全ての支給対象
者に受給券を交付しようとする
もの。

議案第52号 平成24年度館山
市介護保険特別会計補正予算
(第1号) 歳入歳出それぞれ
9391万2千円を増額し、総
額45億4761万7千円とし
ようとするもの。

議案第55号 館山市教育委員
会委員の任命について(9月26
日提出) 館山市教育委員会委
員が任期満了になるので、引き
続き大和地紀昭さん(船形90
5番地の20)を任命しようとする
もの。

議案第44号 館山市災害対策
本部条例の一部を改正する条例
の制定について 災害対策基本
法の改正に伴い、条文の整備を
行うとともに、平時においても
必要な事項が定められるように
改正をしようとするもの。

議案第48号 館山市ひとり親
家庭等医療費等の助成に関する
条例の一部を改正する条例の制
定について 児童扶養手当法施
行令の改正に伴い、ひとり親家
庭等医療費等の助成対象者に配
偶者からの暴力の防止及び被害
者の保護に関する法律第10条第
1項の規定による命令が配偶者
に発せられた者を加えようとし
るもの。

議案第53号 平成24年度館山市
下水道事業特別会計補正予算
(第1号) 歳入歳出額に増減
はないが、平成23年度決算に伴
う繰越金の増額、市債・一般会
計繰入金の減額など。

10月臨時会に提案された
議案を紹介します。

議案第45号 千葉県後期高齢
者医療広域連合規約の一部を改
正する規約の制定に関する協議
について 外国人登録法が廃止
されたことに伴い、千葉県後期
高齢者医療広域連合規約中、広
域連合の経費の支弁の方法に関
する規定について所要の改正を
しようとするもの。

議案第49号 館山市廃棄物の
処理及び清掃に関する条例の一
部を改正する条例の制定につ
いて これまで金属類と併せて無
料で収集していた粗大ごみにつ
いて、新たに一般廃棄物処理手

議案第56号 平成24年度一般
会計補正予算(第4号) 歳入
歳出予算の補正として、歳入歳
出それぞれ2999万7千円を
増額し、総額169億2766
万8千円としようとするもの。

議案第46号 館山市立こども
園の設置及び管理に関する条例
の一部を改正する条例の制定に

料で収集していた粗大ごみにつ
いて、新たに一般廃棄物処理手

援基金積立金など。

認定第1号から認定第6号
平成23年度館山市一般会計ほ
から特別会計の認定について

【議会提案議案】

発議案第5号 認定第1号

平成23年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定についてに対する附帯決議

今後のごみ関連事業の契約にあたって、次の事項を着実かつ速やかに実施することを強く求めるもの。

1 ごみ再資源化事業、ごみ処理手数料事務、ごみ収集事業等に関する委託料については、近隣自治体の契約実態を参考に、契約内容、入札方式、契約価格等について抜本的に見直し、改善すること。

2 ごみ収集事業が館山市直営から完全民間委託へと移行するまでに、館山市のごみ関連事業全体のあり方について検討し、機能性と透明性のある体制づくりの実現に向け、事業者に対して、行政としての指導力を発揮すること。

委員会の審査

各委員会における審査について、主なものをお知らせします。

総務委員会

委員長 石井信重議員

議案3件について審査を行いました。

議案第43号 館山市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

今回の2名の増員に関し、女性の登用について聞いたところ、今年度に入り、充て職である安房健康福祉センター長が女性となり、33名中1名が女性となった。2名の増員に関しては、極力女性の登用に努めていきたいとの説明がありました。

議案第44号 館山市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

今回の条例改正のもととなった災害対策基本法の改正内容について聞いたところ、大規模、広域的な災害に対する即効性の強化という視点で、地域の対策

本部がスムーズに動けること、また避難所運営に当たり女性・高齢者の視点が十分でなかったとの指摘等を踏まえての改正であるとの説明がありました。

議案第50号 平成24年度館山市一般会計補正予算(第3号)

母子家庭自立支援事業について1名あたりの高等技能訓練促進費の額を聞いたところ、市民税課税世帯は1カ月あたり7万500円、非課税世帯は10万円と

なっている。また、技能訓練の内容を聞いたところ、母子家庭の母が、看護師、准看護師、介護福祉士、保育士等の資格取得のために養成機関において2年以上修学する場合に給付される

との説明がありました。不活化ポリオ予防接種事業について、接種の経歴確認について、どのような対策をとっているか聞いたところ、母子健康手帳の確認を職員、あるいは安房

医師会との協議においても徹底している。また、母親からの聞き取りなどチェックできるところはすべて確認をしてお対応しているとの説明がありました。

観光プロモーション活動推進事業資金貸付金について、楽しい農業協議会の活動内容を聞いたと

ころ、主に修学旅行等を誘致して体験型農業を推進しており、更に充実した事業の実施や情報発信、また、新たに食に関するものを組み入れる事業を展開していくとの説明がありました。

文教民生委員会

委員長 三澤智議員

議案6件について審査を行いました。

議案第45号 千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

外国人登録法の廃止に伴い、外国人が住民基本台帳に載ることと、高齢者人口割合に変化があるかと聞いたところ、外国人も後期高齢者医療保険に入っているとの説明がありました。

議案第46号 館山市立こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

待機児童が発生していると聞いているが、2園の開園で解消するのか聞いたところ、こども園で4・5歳児を多く受け入

れば、他の園で保育士の手が空き、受け入れられるようになるとの説明がありました。

議案第47号 館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について

支給対象者の要件について聞いたところ、年齢と市内に居住しているなどの条件を満たした方が対象であるとの説明がありました。

議案第48号 館山市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市内の配偶者からの暴力の状況について聞いたところ、平成23年度は13件であるとの説明がありました。

建設経済委員会

委員長 本多成年議員

議案2件について審査を行いました。

議案第49号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

粗大ごみ処理券の金額につ



て、市独自の判断はどのようにしたのか聞いたところ、粗大ごみ処理に実際にかかる費用も参考にし、他市町との均衡を図ったとの説明がありました。

また、環境審議会でのような意見が出たか聞いたところ、わかりやすい制度にして、市民に充分に周知すること、適正な費用負担にすること、新たに別の費用が発生しないようにすることとの答申があったとの説明がありました。

議案第53号 平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

包括民営委託の成果について聞いたところ、平成21年度からの契約では、委託料で2百万円程度削減できた以外に、人件費の削減が大きい。平成23年10月からは、電気・水道代等も委託料に含めたため、処理水量の増加見込みにより、電気代等が値上がり、年間470万程度増えています。

決算審査特別委員会

委員長 秋山 貴議員

平成23年度一般会計及び特別

会計の審査に当たり、9人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

委員は次のとおりです。
(◎委員長、○副委員長)

◎秋山 貴 ○三澤 智
石井 敏宏 望月 昇
太田 浩 龍崎 滋
石井 信重 本多 成年
内藤 欽次

主な質疑は次のとおりです。

一般会計歳出では、総務費の徴収事務に関して、徴収率が前年度より上回っていることには努力の成果が見えるが、国民健康保険の徴収率58・83%をどう分析するか聞いたところ、大多数の納期内の納税者のサービス維持のため、また公平性の確保のために、今後も差し押さえを前提とした毅然たる態度で対応していきたいとの説明がありました。

民生費の地域支え合い体制づくり事業中、高齢者等買い物代行サービス事業補助金について、サービスの内容を聞いたところ、NPO法人しゃくやく会が障害者の就労支援の一貫として実施しており、外出が不自由

な高齢者や障害者に対し、市内全域で日常の買い物代行を行っている。月額2千円の登録料で何回でも利用でき、しばらく依頼がない方には安否確認を兼ね、訪問等を行っているとの説明がありました。

衛生費のごみ再資源化事業中、ペットボトル等処理業務委託料について、先の本会議において、随意契約による処理単価の問題が指摘された。単価の違いは他市と処理の仕方が異なるためとの説明があったが、この問題に関して今後どのような対応をしていくのか聞いたところ、他市の状況を把握していないは近隣の状況も判断しながら、最終的に廉価で安定的にごみ処理ができるよう、内容を改めて検討しなおして契約に当たりたいとの説明がありました。

農林水産業費のさわやか畜産総合展開事業補助金に関して、循環型の環境への配慮について聞いたところ、家畜の糞尿をどう取り扱うか事前に計画書を提出させ、計画が循環型の環境に配慮しているかが採択の判断基準となっている。平成23年度の申請に関して、し尿を堆肥とする施設があり、水田、野菜、

花づくりに活用される。継続性についても毎年度報告が求められているところであるとの説明がありました。

商工費の緊急経済対策事業補助金について、プレミアム商品券の経済効果を聞いたところ、10%のプレミアムがついたことのお得感の中でお金が動いたことは事実であり、その点では効果があったと理解しているとの説明がありました。

土木費の橋梁調査委託料について、調査を行った上で優先的に補修を要する橋があるか聞いたところ、事業計画の中で、優先順位を選定し、汐入橋について既に着手している。今後、館山大橋等についての修繕を検討していくとの説明がありました。

消防費の繰越明許費分の施設整備工事請負費に関して、防火水槽改修事業で平成23年度までに新設の要望はなかったか聞いたところ、新設の要望はなかったが、現存する防火水槽に蓋をかける要望は強かったとの説明がありました。

教育費の社会体育施設運営事業に関して、温水プールの存続について聞いたところ、行財政改革委員会の答申で廃止との方向

続しようとして検討しているところであるとの説明がありました。

歳入の財産収入について、当初予算額より収入済額が多い理由について聞いたところ、普通財産土地建物貸付収入のうち、震災の風評被害等の影響で、平成22年度に一部未納が生じた分が、平成23年度に多額納付されたことが一番の理由であるとの説明がありました。

下水道事業特別会計について、鏡ヶ浦クリーンセンター運営事業中、長寿命化計画策定業務委託料の内容について聞いたところ、使用年数や故障の履歴等の維持管理情報等から更新が必要な施設を選定して、部分的な取替えにより施設を延命化し、耐用年数を延ばそうとするためのものであるとの説明がありました。

財産に関する調査について、市有地の売却状況を聞いたところ、普通財産の売却で、保有していた土地1件を94万円で、用途廃止された道路敷や水路敷8件を177万円で売却しているとの説明がありました。

一般質問

市政に関する一般質問は、9月5日及び6日の2日間にわたり、次の10名の議員が行いました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

一般質問通告要旨

	<p>森 正一</p> <p>①教育環境（いじめの現状と対策、不登校児童・生徒の現状と対策、安全・安心な学校生活） ②市営住宅（耐用年数超過の住宅、高齢者や障害者の対策、民間住宅の借り上げ） ③認知症対策に関して（患者数の把握、早期発見・治療の対策） ④スポーツ観光・施設（スポーツコミッション、維持管理）</p>
	<p>内藤 欽次</p> <p>①ユー・エム・シー・ジャパン(株)の解散 ②坂田の残土埋め立て事業 ③子ども医療費の助成を小学校6年生まで実施すること ④津波避難対策 ⑤原子力艦船の地震などで起こりうる事故等</p>
	<p>秋山 貴</p> <p>①平成24年春季・夏期観光振興事業 ②平成23年度政策評価（公表のタイムスケジュール、25年度予算編成への活用） ③安房地域医療センターの固定資産税（減免の実施、看護専門学校への支援） ④少子化対策（課題、結婚推進事業、不妊治療費助成）</p>
	<p>石井 敏宏</p> <p>①市内中学生の自殺といじめ（いじめの存在、因果関係） ②いじめの発生原因 ③戦争遺跡（管理・所有権、遺跡の見学） ④坂田への残土搬入</p>
	<p>瀬能 孝夫</p> <p>①館山市の都市計画（コンパクトシティ、津波被害対策） ②社会資本の適正管理（公共施設の維持管理、長寿命化・運営費の削減） ③事業継続計画（BCP）策定</p>
	<p>鈴木 順子</p> <p>①市内最大工場の閉鎖（雇用・地域経済への影響、雇用先の確保、対策窓口、企業誘致） ②撤退予定企業の状況 ③南房パラダイスの運営 ④防災計画見直し（内容、誘導標設置等）</p>
	<p>本多 成年</p> <p>①小中学校のいじめ問題（いじめの存在、具体的施策） ②市営温水プールの存続（意見交換会、施設の存続）</p>
	<p>龍崎 滋</p> <p>①教育（健全育成の取り組み） ②学校給食（施設、給食のあり方） ③稲村城跡の活用（保存管理計画策定委員会、公有地化）</p>
	<p>榎本 祐三</p> <p>①主要道路整備（船形バイパス、館富トンネル拡幅、コミュニティセンター前跨線橋拡幅） ②随意契約（契約の適正化、ごみ再資源化事業の随意契約）</p>
	<p>鈴木 正一</p> <p>①安全安心のまちづくり（ハザードマップ、防災ラジオ、地デジ難視地域） ②農業振興（旧公設地方卸売市場用地の利用、有害鳥獣対策） ③人口減少と高齢者対策 ④観光振興（短期的・長期的取り組み、平砂浦周辺の活用）</p>

※ 紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、11月下旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

主な質問と答弁

教育問題・いじめ対策

- いじめはなぜ起きるか？
- 市内小中学校ではいじめは存在しているか？

えています。

問 市内小中学校で、いじめは存在しているか問う。(本多成年議員)

問 小・中学校におけるいじめはなぜ起こると考えているか問う。(石井敏宏議員)

答 一般論としてのいじめの原因については、一つ目は、物質的な豊かさの中で、欲求不満に対する耐性が欠乏し、生活体験の不足から、他人への思いやりや連帯感が希薄化したこと。二つ目は、少子化の進行により、近所での異なる年齢の縦割り集団の存在が難しくなり、子ども時代に、協調性やルール意識などの社会性を身につける機会が少なくなったこと。三つ目は、学校生活や家庭生活において、学習面や人間関係の面で、ストレスを抱える子どもが多くなったこと。これらの要因が絡みあって、いじめが発生しやすくなると考

産業振興・雇用対策

- 雇用先の確保についての支援策は？
- 有害鳥獣の対策は？

問 市内最大工場の閉鎖について、雇用先の確保と支援策を問う。(鈴木順子議員)

答 先般、会社幹部から聞いたところによると、会社において就職斡旋業者と契約し、再就職の斡旋を行うとのこと。

館山市としても、国、県と連携した雇用に関する窓口を設置することにより、地元での就職の後押しをするともに、国の緊急雇用創出事業の活用について検討を行い、さらには、県にも出先機関での実施を働きかけます。

問 有害鳥獣対策について問う。(鈴木正一議員)

答 猿、特にアカゲザルへの対策については、千葉県の特定期外来生物防除実施計画により、館山市は集中防除区域に指定されていることから、千葉県が全頭捕獲に向けて事業を実施しています。千葉県によると、今年度、母猿へのGPSテレメーターの装着による追跡調査を強化するとともに、大型囲いわなの効果的設置などを実施することとしており、今年度の捕獲頭数は増加していると伺っています。次に、イノシシ対策についてですが、平成23年度から報奨金制度を導入し、館山市内の捕獲対策を充実するとともに、さらに、防護柵設置への助成や狩猟免許取得費の助成などを実施しています。加えて、地域内での共同防護柵設置を促進するとともに、イノシシが活動しにくい森林環境の整備や行動範囲を

観光振興

- スポーツコミッションの設立は？
- 南房パラダイスの運営は？
- 稲村城跡の活用は？

抑制する柵の設置を実施しており、イノシシの捕獲頭数や農業被害額から見ると、若干ではありますが、減少していることから、一定の効果は、あったものと考えています。ただし、今年度、館山市北部の小原地区で、新たに、鹿が捕獲されたことや、南東部の畑や神余及び佐野地区でイノシシの目撃や被害の報告があることから、農家への情報提供を行うとともに、防護柵の設置を推奨するなど、館山市南部地域でのイノシシ被害の蔓延を防止するため、対策の強化を進めていく必要があると考えています。

問 南房パラダイスの運営状況について問う。(鈴木順子議員)

答 現在、南房パラダイスについては、千葉県が一般財団法人公園財団と、10月末までを期間とする委託契約を締結し、管理運営を行っています。11月以降の管理運営等については、千葉県からは「検討をしている。」と伺っています。これまで、館山市としても、市内関係団体や南房総地域の自治体の首長などの連名による要望書を千葉県に提出するとともに、地元としての盛り上がりによる安定的な管理運営への支援を目的として、南

問 他市町と連携したスポーツコミッションの設立について問う。(森正一議員)

答 現在、「トライアスロンアジア選手権」をはじめ、全国でも指折りの人気大会となつて

房パラダイスが実施するイベントなどに積極的に協力してきました。今後も、今までの南房パラダイスへの協力を実施するとともに、千葉県に対する要望を継続し、千葉県による安定的な管理運営を目指していきます。



南房パラダイス

問 稲村城跡の保存管理計画策定委員会について問う。(龍崎滋議員)

答 学識経験者、地元稲地区及び市民からなる8名の委員により、今年度は2回の会議開催を計画しており、第1回目の委員会は、9月下旬に開催する予定です。学識経験者につきましては、考古学、歴史学、造園学、都市計画学の専門家に就任をお願いしています。

環境・ごみ処理

- 残土搬入について？
- ごみ再資源化事業について？

問 残土搬入が始まったが、市としての今後の対応を問う。(石井敏宏議員)

答 この事業に適用される千葉県の埋立てに関する条例では、「市町村と連携し、事業の状況把握、監視に努めること」が、千葉県の責務として定められています。このため、今後の対応についても、千葉県と連携し、現地での定期的な検査の実施等により、状況の把握、監視に努めていきます。また、これとは別に、館山市独自のものとして、公有地の売買に関連して、「排水の検査」と「放射線量の検査」の実施について、事業者と覚書を取り交わしていますので、これに基づき、定期的な検査を行い、土砂の安全性を確認していきます。

問 ごみ再資源化事業の随意契約について問う。(榎本祐三議員)

答 件数としては4件あり、契約の金額及び相手方としては、ベットボトル等処理業務委託が250万2千3百60円でアンビ環境株式会社、プラスチック製容器包装処理業務委託が263万9千850円でアンビ環境株式会社、発泡スチロール処理業務委託が45万4千2百円で株式会社アース産業、ガラス類処理業務委託が104万3千1千8百円で有限会社石井商店となっています。これら4件の業務委託が随意契約に至った理由については、各事業者が市内で唯一、それぞれの資源ごみの処理が可能な事業者であり、地方自治法施行令の、その性質が競争入札に適しないものをするときに該当すると判断したことによるものです。

防災対策

- 津波避難対策は？
- 防災ラジオ計画は？

問 海抜6メートル地域の住民の命を守るための津波避難対策について問う。(内藤欽次議員)

答 基本的に、これまで取り

組んできた初動体制に重点を置いたソフト対策を中心に進めて行く予定です。具体的には、各地域ごとによる津波避難訓練の実施を促進するとともに、津波避難訓練等により得た情報を盛り込んだ地域版の防災マップを作成し、市全域版に加え、10月15日号の市広報誌の配布に合わせ、全戸配布する予定です。今後も、「いつでも」、「どこでも」起きる可能性がある大規模な地震に備え、防災対策を継続して実施します。

問 防災ラジオ計画について問う。(鈴木正一議員)

答 5月に契約を行い、結果として購入台数は、約2100台となりました。配布対象者は、津波浸水予想区域内の配布を希望される市民を優先し、1台当たり2千円を負担いただき、合計で約1100台を配布する予定です。また、津波浸水予想区域内で災害時に援護を必要とする世帯、自主防災会、消防団、医療・福祉関係機関などに、約1千台を無償配布する予定です。なお、防災ラジオの納品が、10月下旬の予定となっておりますので、市広報誌等により申請方法等を市民に周知し、11

月初旬より申請受付と同時に配布する予定です。



防災ラジオ

医療・福祉・少子化対策

- 子ども医療費の助成は？
- 安房地域医療センターの固定資産税は？
- 不妊治療費の助成は？

問 子ども医療費の助成を小学校6年生まで実施することについて問う。(内藤欽次議員)

答 本年8月診療分から入院医療費の助成対象を中学校3年生まで拡大し、保護者の経済的な負担軽減を図っているところです。これについては、本年12月から千葉県が制度改正により、中学校3年生まで入院医療

費の助成対象を拡大しますが、それに先駆けて実施することができました。通院医療費の小学校6年生までの助成についても、助成対象の拡大による財政負担への影響や今後の財政状況を勘案し、実現できるよう努力していききたいと考えています。

問 安房地域医療センターの固定資産税減免について問う。

(秋山貴議員)

答 地域医療、特に、救急医療の機能を維持することは、全ての市民にとって、生活の根幹に関わる最重要課題であり、その必要性は高いと考えています。しかし、医療を取り巻く環境は、めまぐるしく変化しており、当地域を取り巻く救急医療についても、安房保健医療圏外からの救急患者の増加などに対して、新たな対応策を求められているところでは、今回、新たに国から示された「第2次健康日本21」においては、このような状況に対して、地域が持つ人的ネットワークや社会環境などを活用した施策の展開が、一つの方向性として示されています。当地域においても、コミュニティを医療や健康という視点で再構築することが、地域全体

の医療環境の崩壊を食い止めるための有効な施策の一つになると考えています。そのためには、行政、医療関係者、地域住民も含め、協議することが重要であると考え、「コミュニティ医療推進事業」を展開しているところでは、これらの状況に加え、救急医療機関として安房地域医療センターが果たす役割、税を投入する上での法的、手続的妥当性、コミュニティ医療の方向性などの状況を踏まえた上で、支援策を具体化していきま

す。

問 不妊治療費の助成について問う。(秋山貴議員)

答 平成17年1月から、国の「特定不妊治療補助事業」を受けて、千葉県が不妊治療の助成事業を行っています。安房健康福祉センターの集計によると、平成23年度において、館山市では年間延べ28件の御夫婦が特定不妊治療費の一部を助成する制度を利用して、助成金総額では、347万7033円の実績となっております。不妊症の問題は、経済的な負担の面だけではなく、妊娠を望む御夫婦や御家族の方々が、悩みを抱え、心を痛めていることにもあることを

十分認識しています。今後、不妊治療を行っている人に対する助成事業については、国、県の動向を踏まえ、医師や専門医療機関の状況などを検証しながら、検討していききたいと考えています。

市営の施設

- 耐用年数を越えた市営住宅は？
- 市営温水プールの存続は？
- 給食センターは？

問 耐用年数をかなり超えた住宅について、今後の展望を問う。(森正一議員)

答 市営住宅で耐用年数を超えている住宅は、沼住宅の30戸全て及び笠名住宅の全85戸のうち59戸で、計89戸が該当します。これら耐用年数が過ぎた住宅については、適切な維持・管理のもと、住宅修繕を行っており、耐用年数を越えた住宅についても十分居住できるものと考えています。しかし、耐用年数を大幅に超えた、笠名の木造住宅の中には、修繕の限界を迎えたものもあり、それらについては、用途廃止しています。この

ような、老朽化した住宅については、今後も公営住宅ストック総合活用計画に従い、修繕不能な木造住宅は用途廃止し、その他の住宅は適切な維持・管理による長寿命化を行っていきます。

問 市営温水プールの存続について問う。(本多成年議員)

答 利用者をはじめ、多くの市民の要望については、十分理解していますが、館山市の行財政改革における、歳出の削減に当たり、多額の経費を要している温水プールの経費削減も必要であると判断しています。このことから、今年度は開所日を減らし、大幅な経費の削減を図っています。今後については、既存のボイラーの使用が可能な限

り、今年度と同程度の経費において開所して行く考えです。ただ、既存のボイラーの使用不能や施設の大規模改修が必要となった場合には、その時点での館山市の財政状況を踏まえ、プールを存続するか否かについて検討する考えです。

問 給食センター及び学校給食のあり方について問う。(龍崎滋議員)

答 給食は単に安全で栄養バランスのとれた食事を提供するだけでなく、望ましい食習慣の涵養や地域の食文化の学習など、子どもの食育に大きな役割を果たしていく必要があると考えています。このため、現在、給食時間を活用して栄養士が各学校に出向き、望ましい食習慣を育成するための「食に関する指導事業」を実施している他、地元で採れるピワや梨などの特産品を旬の時期に提供すること

で、地産地消に関する意識付けにも取り組んでいるところです。



市営温水プール



都市計画

- コンパクトシティへの転換は？
- 事業継続計画の策定は？
- 主要道路整備のビジョンは？

問 暮らしに必要な機能を一定の地域内に集約するコンパクトシティへの転換について聞
う。(瀬能孝夫議員)

答 コンパクトシティとは、都市機能の郊外への拡散を抑制し、中心市街地の活性化を図るとともに、住民が住みやすい、歩いて暮らせるようなまちづくりを目指そうという考え方であると認識しています。館山市の都市計画マスタープランにおいても、今後の都市づくりの基本的な考え方について「これまで行われてきたまちづくりを踏まえ、集約型都市構造の形成を図る」こととしています。

問 事業継続計画の策定について聞う。(瀬能孝夫議員)

答 災害等の非常時の対応としては、館山市地域防災計画に基づいた配備体制により、災害復旧対応を行うこととなります

が、各関係機関との連携により、市民の生命・財産を保護する業務が中心となります。館山市地域防災計画は、非常事態発生直後の対応に重点を置いていることから、非常事態発生から、役所本来の業務を維持継続していくための、業務継続計画を策定することは、大きな意義があると考えています。8月に、関係各課職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、協議検討を始めたところです。

問 館山市として「船形バイパス」を含めた主要道路整備のビジョンについて聞う。(榎本祐三議員)

答 館山市を含む南房総地域が首都圏内の身近な観光地として、豊かな自然環境を提供できるといふ地域の優位性を高めていくためには、東関東自動車道館山線と地域高規格道路館山鴨川道路による高速道路ネットワークの確立が必要であると考えています。そして、これら広域幹線道路からの交通を受けとめる域内交通網の整備として、富津館山道路富浦インターチェンジ以南の国道127号の4車線化が必要です。また、「館山夕日栈橋」や「渚の駅」たてや

ま」のある館山港に加え、船形漁港も生かして、館山市の活性化を図るためには、船形バイパスの整備によって、富浦インターチェンジと館山湾を結ぶ主要な交通導線を形成することが不可欠です。さらに、都市計画道路青柳大賀線の整備によって、西岬地区へのアクセス性の向上を図ること、また、国道127号と国道128号を結ぶバイパスの整備によって、安房地域医療センター付近の交通渋滞を解消することも重要と考えています。

本市への視察

10月16日 秋田県にかほ市議会の議員が新旅館グルメ等視察のため来館しました。

10月26日 千葉県勝浦市議会の議員が認定子ども園について視察のため来館しました。

会議録の検索・閲覧

9月定例会及び委員会の会議録は、11月下旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。また、「たてやま議会だより」

市議会を傍聴しませんか!

は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所2階)前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。(館山市のホームページでご覧になれます)

次の定例会の予定

開会日 : 11月30日(金)午前10時から
一般質問 : 12月6日(木)、7日(金)
予備日 : 10日(月)
各日それぞれ午前10時から
請願・陳情提出締切 :
11月22日(木)正午まで

編集後記

9月定例会では、決算審査特別委員会が設置され、活発な議論が行われました。

市財政は一段と厳しさを増すなか、平成23年度決算の認定については附帯決議を全会一致で可決するなど、議会としてのチェック機能を活用すべく心がけてまいりました。

これからも市民目線に立って議会活動を行っていくとともに、この議会だよりを通じて、市民の方に、市政の情報を広く知ってもらおうよう編集をしてまいりたいと思います。

市議会に関する皆様の御意見、御質問等をお待ちしています。(秋山 貴)

* 議会報編集委員会 *

(◎委員長 ○副委員長)

◎秋山 貴 ○三澤 智
石井 信重 本多 成年

議会や議会だよりに関するごとの御意見、御質問等は議会事務局まで電話又はメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

平成24年9月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第43号	館山市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第44号	館山市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第45号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決 全会一致
議案第46号	館山市立こども園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第47号	館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第48号	館山市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第49号	館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第50号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致
議案第51号	平成24年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第52号	平成24年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第53号	平成24年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第54号	館山市教育委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第55号	館山市教育委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
認定第1号	平成23年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 賛成多数
認定第2号	平成23年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第3号	平成23年度館山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第4号	平成23年度館山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第5号	平成23年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第6号	平成23年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
発議案第5号	認定第1号 平成23年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定についてに対する附帯決議	原案可決 全会一致

平成24年第3回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第56号	平成24年度館山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致